見本

JIS A 1202 JGS 0111	_	上粒子	の密度試験	管理番号 2025XXXXX			
件名	品質管理						
採取先又は購入先	(株)センター			採取年月日	令和7年4月1日		
試 料 名	土						
試 験 責 任 者	(公財)沖縄県建設技	令和7年4月30日					
試 料 看	番号(深さ)		1				
ピクノメーター No.			3	5	15		
ピクノメーターの質量 r	$ m m_f$	(g)	175.33	177.02	176.32		
(蒸留水+ピクノメーター	-)の質量 ma'	(g)	674.27	675.81	674.82		
m _{a'} をはかったときの蒸	留水の温度 T'	(℃)	21	21	21		
T '℃における蒸留水の	D密度 ρ _w (T')	(Mg/m3)	0.998	0.998	0.998		
(試料+蒸留水+ピクノ)	ペーター)の質量 m _b	(g)	767.3	768.20	767.50		
m _b をはかったときの内タ	容物の温度 T	(℃)	20	20	20		
T ℃における蒸留水の)密度 ρ _w (T)	(Mg/m3)	0.9982	0.9982	0.9982		
温度T℃の蒸留水を満 (蒸留水+ピクノメーター		(g)	674.37	675.91	674.92		
	容 器 No						
試料の	(炉乾燥試料+容器)質						
炉乾燥質量	炉乾燥質量 容器質量 g						
	$m_{\rm s}$	(g)	150.000	150.000	150.000		
土粒子の密度	ρ s	(Mg/m3)	2.624	2.595	2.608		
	ho s	(Mg/m3)		2.609			
/++: - / -							

備考

土粒子の密度は、次の式を用いて算出し、四捨五入によって、小数点以下2桁に丸める。 なお、対象とする試料について複数個行った場合の代表値は、算術平均値を採用する。 平均値は四捨五入によって、小数点以下2桁に丸めて代表値とする。

ρs: 土粒子の密度(Mg/m3) ms: 炉乾燥試料の質量(g)

 $\rho s = \frac{ms}{ms + (ma - mb)} \rho w (T)$

mb: 温度(℃)の蒸留水及び試料を満たしたピクノメーターの質量(g)

pw(T): mb をはかったときのピクノメーターの内容物の温度

見本

JIS A 1	203	土の含水比試験						管理番号 2025XXXXX	
件	名	品質管理	E						
産地又は銀	拡山名	(株)センタ	ター			採取年	月 日	令和7年	三4月1日
材 料	名	土				<u> </u>			
試 験 責	任者	(公財)	中縄県建設±	技術センター	試験研究部長名	試験年月日 令和7年4月30日			4月30日
試料番号	(深さ)	1		2				3	
容器No.		20	104	75					
m_a	(g)	482	508.5	515					
$m_{\rm b}$	(g)	435	459.8	467.6					
$\rm m_{\rm c}$	(g)	172	202. 2	202. 9					
W	(%)	17. 9	18.9	17. 9					
平均值	w (%)		18. 2						
特記事項								Г	T
								_	
試料番号			4		5			6	
容器No.									
m _a	(g)								
m _b	(g) (g)								
m _c	(g) (%)								
平均値	w (%)								
特記事項	W (/U/								
14 10 4 7									
 試料番号	(深さ)		7		8	1		9	I.
容器No.									
m_a	(g)								
$m_{\rm b}$	(g)								
m_{c}	(g)								
W	(%)								
平均値	w (%)								
特記事項									

備考

 $w = \frac{-ma - mb}{mb - mc} \times 100$

ma:(試料+容器) 質量

m_b:(炉乾燥試料+容器) 質量

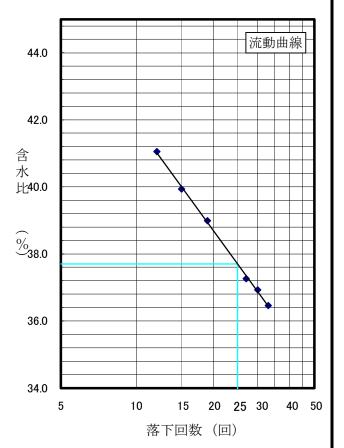
mc:容器質量

[・]本報告書の試験結果は、本報告書の記載の試料のみについて有効です。

見本

JIS A 1205 JGS 0141	験	管理番号 2025XXXXX						
件名	品質管理							
採取先又は購入先	(株)センター	採取年月日	取年月日 令和7年4月1日					
材料名	土							
試験責任者	(公財)沖縄県建設技術センタ 試験研究部長名	試験年月日	令和7 ^在	F4月30日				
試料番号(深さ) 遊 性 限 界 計 齢								

E VIT III O (INC)										
液	性	限	界	試	験					
落	下 回	数	12			15		19		
_	容 器 No.		1		2		4			
宫	含 m _a g		12.52		12.76		13.56			
水	m _b	g		11.51		11.55	5	12.48		
比	m _c	g		9.05		8.52		9.71		
	ω	%		41.1		39.9		39.	0	
落	下 回	数		27		30		33	3	
_	容 器 No.		21		22		27			
含	m _a	g	12.40			12.55		13.94		
水	m _b	g	11.42		11.66	11.66		97		
比	m _c	g		8.79		9.25	9.25		31	
. –	ω	%		37.3		36.9		36.5		
塑	性	限	界	試	験					
_	容器 No.		10		18		19			
含	m _a g 42.		42.84		47.37		42.74			
水	m_b	œ	42.46		46.95		42.20			
比	m _c	g	40.76		44.93		39.84			
	ω	%	22.4		20.8		22.9			
液性限界 ω_{L} %			塑性	限界	ω _P %	塑'	性指数	/ _P		
37.7			22.0			15.7				



備考

赤土(グラウンド用)

ma:(試料+容器)質量

m_b:(炉乾燥試料+容器)質量

m。: 容器質量

w:含水比

[・]本報告書の試験結果は、本報告書の記載の試料のみについて有効です。